


- ✓ 「本調査のポイント（第2章、第3章）」をご紹介します
- ✓ 詳細は各訪問先のページをご覧ください





# 第2章 英国の酪農教育ファーム (農家編)

⇒ 本編は p 1 1 へ

# 1. 都会の中にあるからこそその農場 ーヴォグゾール・シティファームー

## ■ ヴォグゾール・シティファーム（Vauxhall City Farm）とは

⇒ 詳細は p 13 へ

- 都会の消費者に食料としての家畜について教える
- 小型の家畜を主に扱い、アルパカやリヤマなどへ餌やり体験が可能
- イベントや体験は有料で、子供を中心に幅広く受入れ

## ■ 障がい者の受入れと地域のボランティアで作る コミュニティ農場

- 多くの作業は地域ボランティアにより支えられている
- 障がいのある人々もボランティアとして受入れ、  
アニマルセラピーや職業訓練、自立支援にも貢献

## ■ 多様性を学ぶ教育ファーム

- カフェが地域の人々の憩いの場としての役割も担う
- 外国語を話せるスタッフの存在
- LGBTQ+などの文化を讃えるパレードの主催



都会の中に地域の一部として溶け込む農場

## ⇒ 実施している教育ファーム活動（事例）

- 農場内に展示物（ポスターなど）を設置する（p 14）
- 地域のボランティア（障がい者を含む）を受入れ可能にする（p 16）
- 外国語を話すスタッフや外国語に翻訳した展示物等を活用する（p 16）
- 多様性（性別・年齢・国籍など）に配慮した教育活動を行う（p 17）

## 2. 多角化経営を行う酪農家から学ぶ ビジネスマン向け酪農教育ファーム ーホワイト・ウール・ファームー

⇒ 詳細は p 1 8 へ

### ■ ホワイト・ウール・ファーム（White Wool Farm）とは

- 自然環境保全と収益性の両立を目指す経営展開
- 経営主による経営組織の改善と、各部門長による自律的活動
- A H D B の戦略的酪農場に選定されている

### ■ 農業資源、地域資源を生かした多角的経営

- 国立公園地域に位置した美しい自然環境の農場
- 使わなくなった養豚場→貸倉庫業、自然景観→自然そのまますを楽しむようなアクティビティの提供
- 釣り・クレー射撃場・宿泊・貸倉庫・企業研修など多角化経営を展開



農場内のカフェは多くの来訪者でにぎわう

### ■ 子供から大人まで多彩な教育ファームの実施

- 子供向けには「木綿のパンツ」を使った土壌の肥沃さを実感させるユニークな体験型教育などを提供
- ビジネスマン向け研修では、酪農経営の考え方を応用し、チームワークや課題解決力を養うプログラムを実施

### ⇒ 実施している教育ファーム活動（事例）

- 来訪者に憩いの場（カフェ、キャンプエリアなど）を提供する（p 2 0）
- 大人や企業研修用の体験メニューを用意する（p 2 2）

# 3. 人々を受け入れる目的を明確にして 酪農教育ファームを実践 ーフェルコート・ファームー

## ■ フェルコート・ファーム ( Felcourt Farm ) とは

⇒ 詳細は p 24 へ

- 100年続く、動物福祉にも配慮する農場
- 動物福祉などの認証基準をクリアし高い乳価を維持
- 自分たちも楽しみながらの酪農教育ファーム

## ■ 酪農教育ファームで、酪農や動物福祉の正しい知識を みんなに伝えたい

- 酪農や乳製品、動物福祉についての正しい知識を皆に伝えたい
- 近隣住民と交流がしたい
- そんな思いで人々を受け入れている農場

## ■ オープンファームサンデーへの参加

- 全国規模のイベントで、英国各地の農場が人々を受け入れる1日
- 農業団体や各種企業が一体となって実施



トラクターの荷台に乗って牧場ツアー。子供たちに大人気だという。  
(写真はフェルコート・ファームのFacebookから引用)

## ⇒ 実施している教育ファーム活動 (事例)

- 酪農家取り組む動物福祉をクイズにして伝える (p 27)
- 複数の農家で同時期に教育ファーム活動を行う (p 28)
- 近隣の子供たちや住民を対象に教育ファーム活動を行う (p 29)
- トラクターによる農場巡り体験を行う (p 29)

# 4. 学校の教室のように実学で畜産を学ぶ —マウント・プレザント・スクールファーム—

⇒ 詳細は p 3 1 へ

## ■ マウント・プレザント・スクールファーム（Mount Pleasant School Farm）とは

- 笑顔が素敵なニーナ校長先生による農場教室
- ウォーガン財団により運営されており、有料で教育ファーム活動を行っている

## ■ 長年の経験で生まれたこだわりの手作り教材

- 本物の羽や毛を使った貼り絵
- 農場内で実際に採れた卵を使ってランク分けする教材
- ホルスタインの模型を使った模擬搾乳体験

## ■ 教育ファームと酪農経営の分業化

- どちらも財団による出資だが、酪農場とスクールはそれぞれ独立し、お互い協力しつつも分業して運営している



ホルスタインの模型 模擬搾乳体験ができる

## ⇒ 実施している教育ファーム活動（事例）

- 模擬搾乳体験を行う（p 3 2）
- 学校の科目（算数、生活科など）に関連したクイズを用意する（p 3 2）
- 酪農や乳業を題材にした手作り教材を用意する（p 3 2）
- 有料で教育ファーム活動を行う（p 3 4）

# 5. 近代化・大規模化を果たす 「酪農教育ファーム」のための農場整備 －ファーマー・バーンズ・デーリィー

■ファーマー・バーンズ・デーリィー（Farmer Barnes Dairy）とは ⇒ 詳細はp35へ

- 息子が経営主になったことで、農場の近代化と規模拡大を実施
- 新農場建設にあたり、アメリカの農場を視察し、牛を見せる農場に感銘を受ける
- 来訪者への講演やお茶を楽しめる場所「牛の教室」を整備

■ 子供から大人まで、多年代に向けた教育ファームの実施

- 消費者への理解醸成に力を入れ、大人向け、子供向けの各種酪農農場の見学や体験ツアーを実施
- 子供向け教育では専門用語をそのまま用いて「マジック・ワード（魔法の言葉）」として興味を引き、酪農を通じて自分で考える力を育む工夫がされている




牛舎内を見渡せる見学用バルコニー

■ 農場、乳業メーカーが考えるすべての世代に酪農を伝える重要さ

- スーパーのバイヤーら取引先への農場ツアーを実施し、酪農理解の促進をしている
- 農場体験ツアーだけではなく、ビジネスミーティングや子供の誕生会に場所を提供

⇒ 実施している教育ファーム活動（事例）

- 子牛や搾乳を間近で見せる（p37）
- トラクターによる農場巡り体験を行う（p37）
- 体験者に酪農家の思い（食、しごと、いのち）を伝える（p39）



# 第3章 英国の酪農教育ファーム (団体編)

⇒ 本編は p 43 へ

# 1. 生産者が作る生産者のための巨大組織の 柔軟で多岐にわたる活動 －NFU－

⇒ 詳細は p 45 へ

## ■ NFU（英国全国農民組合）とは

- 1908年創立の英国最大の農業団体
- 組合員数は約5万人
- 農業粗生産額の75%に関与

## ■ 持続可能で競争力のある農業の構築

- 生産者と乳業者の対等な関係構築に取り組む
- 国と業界がともに、動物の健康と福祉の向上に取り組む
- 酪農家のスキル向上に努める

## ■ 学校のカリキュラムを意識した出前授業を展開

- 中学校や高校に「酪農大使」として酪農家を派遣
- 国による学校のカリキュラム改訂にも積極的に働きかける
- 生徒が農家や大学で学び、その後もフォローする研修制度がある
- 小学生向けのネット授業も充実



酪農大使として学校で活動する酪農家（NFUのHPから引用）。酪農大使は、子供たちに興味を持たせたり考えさせたりするスキルを身につけるトレーニングを受けてから派遣される。

## 2. 農家と近い距離で寄り添う農業団体 — A H D B —

⇒ 詳細は p 5 0 へ

### ■ A H D B（英国農業園芸開発委員会）とは

- 法律に基づき、生産者から賦課金を徴収
- 牛肉・羊肉、豚肉、牛乳・乳製品、穀物、油糧種子の販売・輸出促進、市場調査、研究開発、情報収集などの活動を行う

### ■ 温室効果ガス（G H G）削減、動物福祉への対策

- 牛のメタンガス削減のためのモニタリング
- G H Gデータに基づく農家への行動変容の促進
- 独自ガイドラインの普及で抗生物質の利用を激減

### ■ 農業普及員の派遣

- 普及員を派遣して農家経営をサポート
- 戦略的酪農場を選定し、モデル農家として支援し地域活性化を担う



A H D Bが主催する戦略的酪農場による農家向け勉強会の様子（A H D BのHPから引用）

# 3. アニマルウェルフェア型 牛乳の認証制度と 認証農家による消費者交流 — RSPCA、ムーアズ・コーバート・ファーム —

⇒ 詳細は p 55 へ

## ■ RSPSA（英国王立動物虐待防止協会）とは

- 英国では、消費者が牛乳を選ぶ際に「アニマルウェルフェア（動物福祉）」を重視
- RSPCAの下部組織、RSPCAアシュアードでは酪農経営用アニマルウェルフェア認証制度とマニュアルを作成
- 認証農場では、牛の快適な飼育環境や行動の自由を確保

## ■ RSPCA認証農場による取り組み

- アニマルウェルフェアに基づく「農場保証」と「食品表示制度」
- 取組農場は認証取得により、「収益性向上」や「飼育環境改善」を実現



RSPCA認証ロゴ（左）と  
ロゴのついた牛乳のラベル（右）

## ■ 農場主の母による消費者交流の実施（ムーアズ・コーバート・ファーム）

- 農場主の母は、酪農の現場を直接伝えることで消費者意識の変化を望む
- 学校訪問の受入れのほか、農場内キャンプ場のお客さんにも体験を提供

# 4. 国産を安心して食べたいという英国国民の思いを 実現する認証機関 — レッドトラクター —

⇒ 詳細は p 6 1 へ

## ■ レッドトラクター（Red Tractor）とは

- BSEなどで失墜した食品安全の信用を取り戻すため、2000年に創設された農畜産物の認証機構
- 英国で生産される農畜産物の大部分を認証

## ■ 消費者の食品に対する信頼を保証する

- 英国産であるという安心感を消費者に与えている
- レッドトラクターの認証がない生産物は、スーパーが扱ってくれない
- 消費者の80%が食品パッケージのレッドトラクターのロゴマークを認知

## ■ 生産者の誇りを認証する

- 今後は生産者の「誇り」を前面に出していきたい
- 認証制度を広め定着させるには、どんなメッセージを消費者に伝えるかが重要
- 認証を広めるためには、サプライチェーンの協力が必須



レッドトラクター認証ロゴ（左）と  
ロゴのついた牛乳のラベル（右）